ManageOZO3 3.20.0リリース内容

2020年8月19日

【全般】OBC奉行シリーズ11対応

- OBC奉行シリーズの11に対応します
- ManageOZO3の機能は11対応による変更はございません。
- 対応する奉行シリーズは、今までと同様以下になります。
  ① 勘定奉行(個別原価管理編、建設業編を含む)
  ② 人事奉行
  ③ 給与奉行

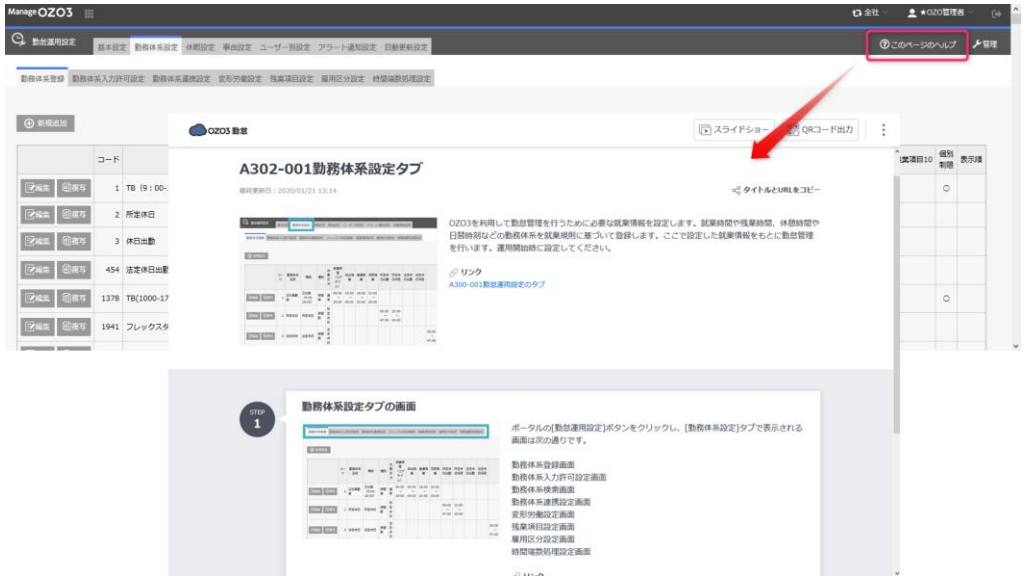
- 対応するManageOZO3の機能は、今までと同様以下になります。
  ① 勤怠管理：給与データ出力、工数データ出力
  ② 経費管理：仕訳データ転送、汎用データ出力
  ③ 給与賞与明細：データ取込
  ④ 人事管理：人事台帳、人事データ転送
  ⑤ プロジェクト管理
  ⑥ ERPユーザー情報連携
  ⑦ ERP連携設定
  ⑧ マスタ管理

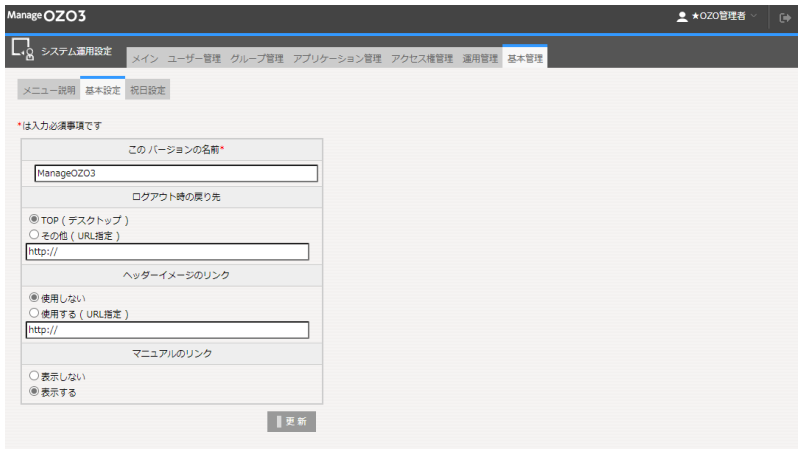
【全般】マスタ登録のCSV入出力機能を強化

▼勤怠運用設定
　勤務体系登録
　雇用区分設定
　アラート通知設定
　勤務体系設定＞勤務体系入力許可設定
▼勤怠管理
　管理の権限設定
▼経費運用設定
　使途分類設定
　管理の部門紐付設定
　申請書設定＞名称設定
　申請書設定＞台紙印刷設定
▼経費管理
　管理の権限設定
▼プロジェクト管理
　作業内訳

- 左の機能でCSVの出力と取込ができるようになります
- フォーマットについては、別途マニュアルにて公開予定です

【全般】オンラインヘルプ

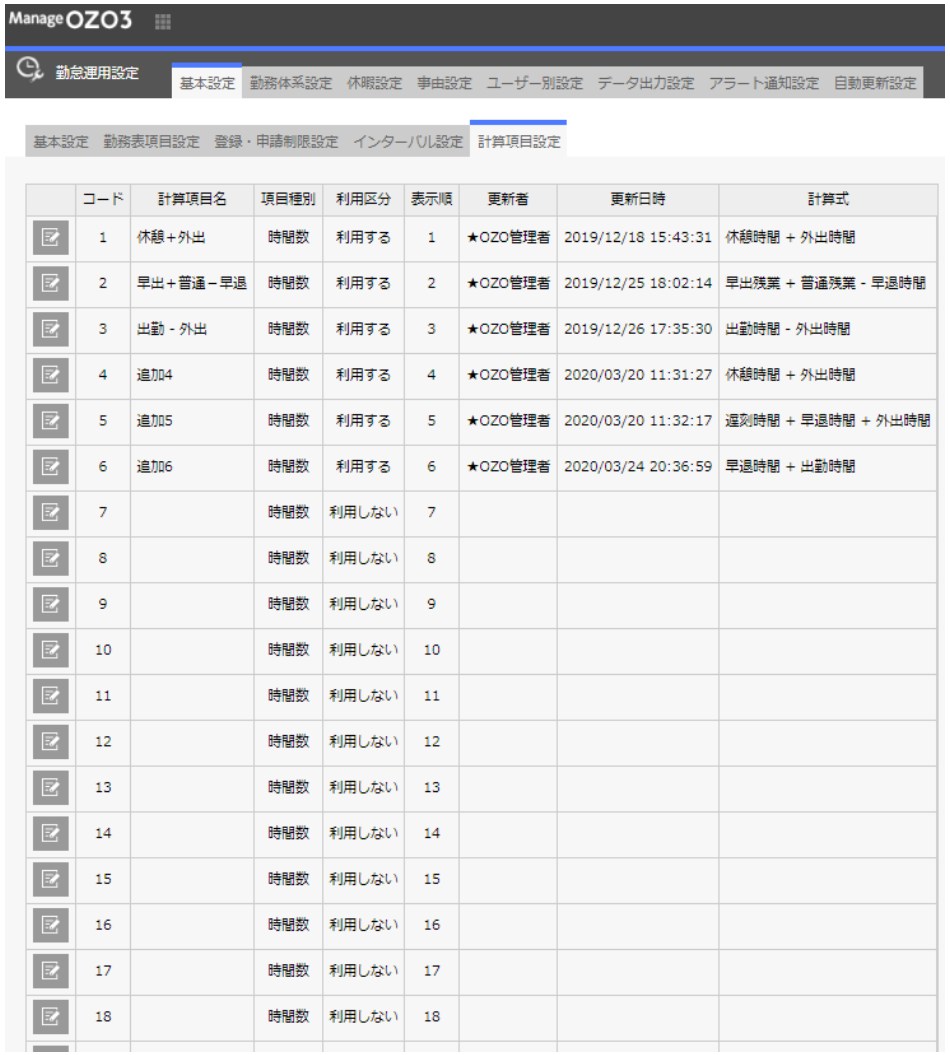




- ManageOZO3の画面から該当画面のオンラインヘルプが見れるようになります。
- 2020年8月リリースに於いては、勤怠管理/勤怠運用設定/経費管理/経費運用設定/システム運用設定のみとなります。今後のリリースで順次他のアプリケーションも公開予定です。
- オンラインヘルプはManageOZO3の最新バージョンの画面が表示されます。旧バージョンのマニュアルは最新バージョンの画面から遷移できます。
- システム運用設定でオンラインヘルプの表示をするかしないかを選択できます

  バージョンアップ後の初期値は「表示する」になります。

【勤怠】計算項目の設定を50個までできる



	コード	計算項目名	項目種別	利用区分	表示順	更新者	更新日時	計算式
	1	休憩＋外出	時間数	利用する	1	★OZO管理者	2019/12/18 15:43:31	休憩時間 + 外出時間
	2	早出＋普通－早退	時間数	利用する	2	★OZO管理者	2019/12/25 18:02:14	早出残業 + 普通残業 - 早退時間
	3	出勤 - 外出	時間数	利用する	3	★OZO管理者	2019/12/26 17:35:30	出勤時間 - 外出時間
	4	追加4	時間数	利用する	4	★OZO管理者	2020/03/20 11:31:27	休憩時間 + 外出時間
	5	追加5	時間数	利用する	5	★OZO管理者	2020/03/20 11:32:17	遅刻時間 + 早退時間 + 外出時間
	6	追加6	時間数	利用する	6	★OZO管理者	2020/03/24 20:36:59	早退時間 + 出勤時間
	7		時間数	利用しない	7			
	8		時間数	利用しない	8			
	9		時間数	利用しない	9			
	10		時間数	利用しない	10			
	11		時間数	利用しない	11			
	12		時間数	利用しない	12			
	13		時間数	利用しない	13			
	14		時間数	利用しない	14			
	15		時間数	利用しない	15			
	16		時間数	利用しない	16			
	17		時間数	利用しない	17			
	18		時間数	利用しない	18			

- 計算項目を50個まで設定可能になります

【勤怠】計算項目で掛け算/割り算ができる①

- 計算項目で掛け算/割り算ができるようになります
  なお、以下については設定できません
  ① 時間数と数値の足し算
  ② 時間数と数値の引き算
  ③ 時間数同士の掛け算
  ④ 時間数同士の割り算
  ⑤ 数値÷時間数　※時間数÷数値は可能
- 括弧を付けることができ、計算の優先を決められます。
  括弧は複数入れることができます
- 固定値の入力制限の一部緩和
  項目種別が時間数の場合に、固定値に数値の入力ができるようになります
- 勤務集計表における固定値の扱い
  係数としての固定値の場合は月数で乗算されません
  　例）出勤時間×20　→月数で割られません
  係数以外の固定値の場合は月数で乗算されます
  　例）出勤時間÷1:00　→月数で割られます

【勤怠】計算項目で掛け算/割り算ができる②

- 計算結果の全体で端数処理をすることができます。
- 数値の場合は、小数点1位か2位かを選択できます。
- 時間数の端数処理は1分未満の時間数に対しての処理となります。

  例）11時間15分を2で割るケース

  2で割ると、5時間37.5分となる。

  端数処理の設定に応じて、以下の結果となります。

  切り捨て：5時間37分

  四捨五入：5時間38分

  切り上げ：5時間38分

【勤怠】計算項目で特休を事由単位で選択できる

- 計算項目で特休を事由単位で選択できるようになります

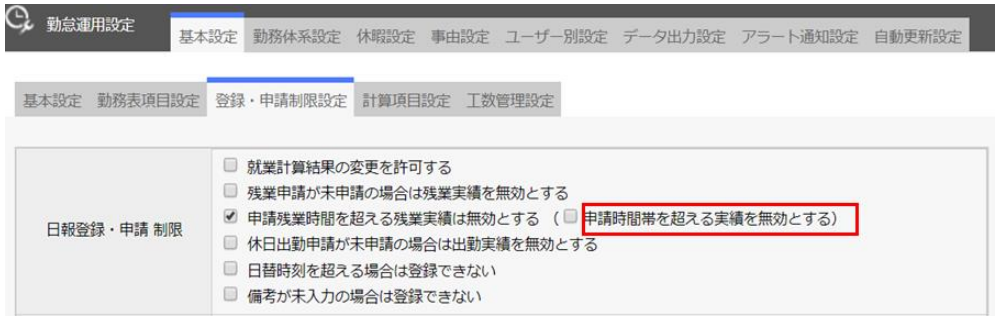
【勤怠】計算項目を表示や出力で利用する/しないを設定できる

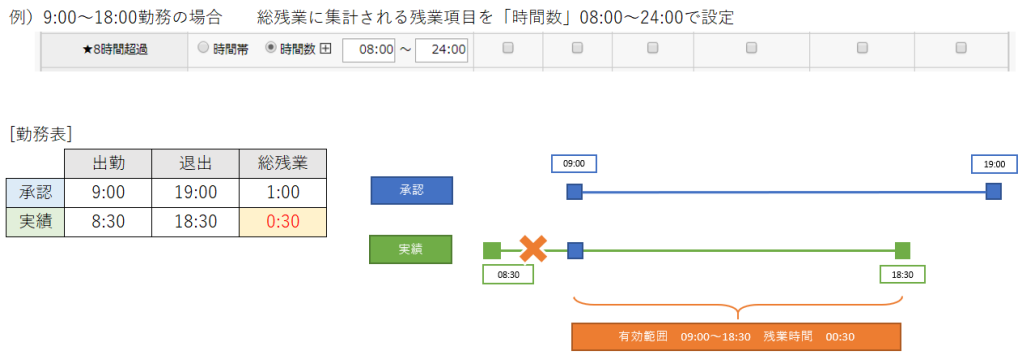
- 計算項目で各計算項目ごとに、勤務表/残業管理/データ出力/アラートでそれぞれ利用する/利用しないを設定できます

【勤怠】計算項目を雇用区分別、ユーザー別に設定できる

- 計算項目を雇用区分、ユーザー別に設定できるようになります
- 計算項目のパターン設定を行い雇用区分設定とユーザー別設定でそれぞれ計算項目パターンを選択できます

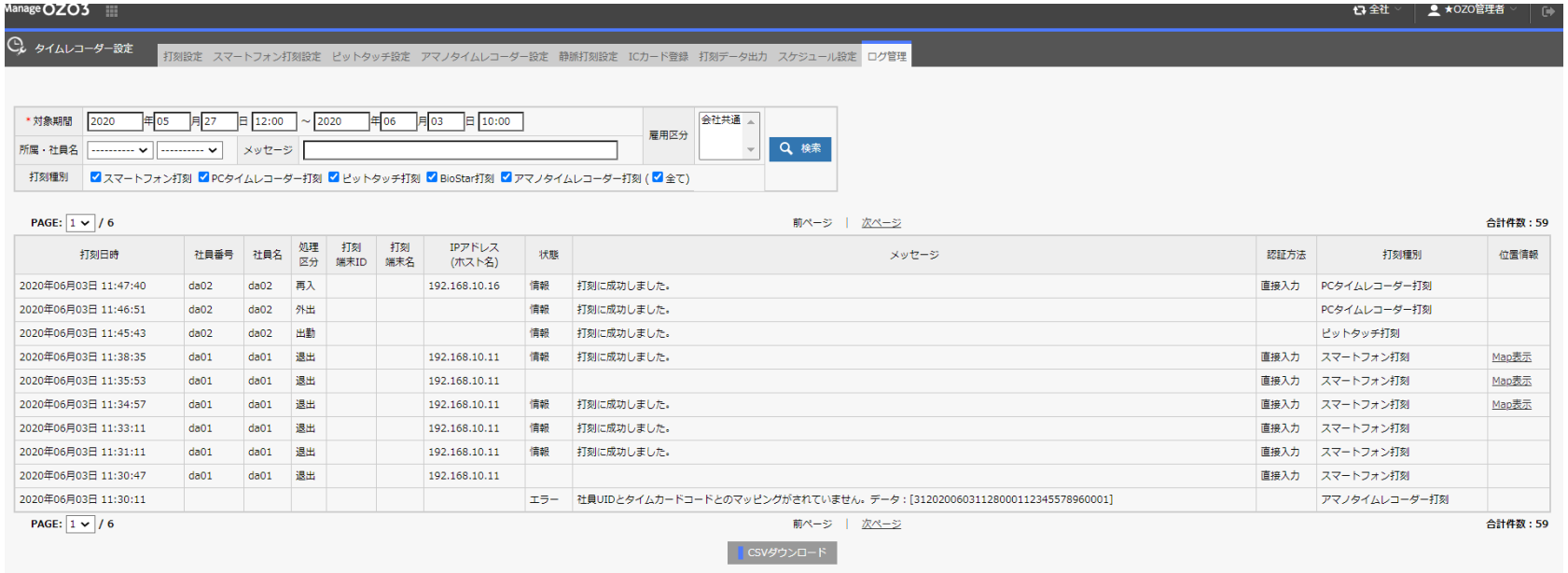
【勤怠】申請残業時間を超える残業実績無効にする設定で時間帯も考慮する





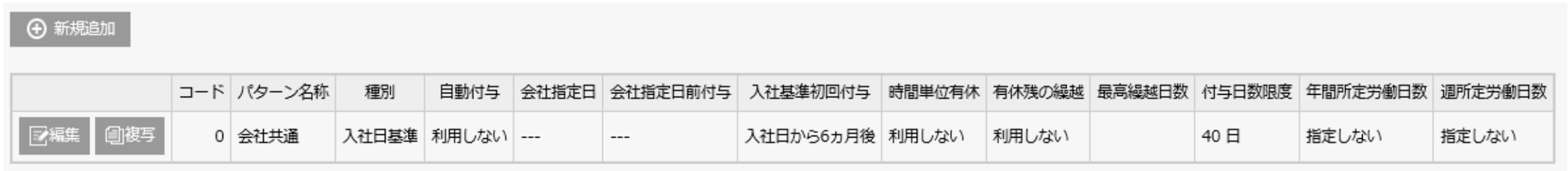
- 「申請残業時間を超える残業実績無効にする」設定で時間帯も考慮するようになります
- 今までは残業実績の時間帯が残業申請の時間帯の範囲外だとしても、時間数が範囲内の場合には実績となっていました
- 新たに追加になった設定「申請時間帯を超える実績を無効とする」を有効にした場合は、残業実績の時間帯が残業申請の時間帯の範囲外の場合には実績としないようになります。
- 日報画面に残業申請の時間帯と残業実績の時間帯を表示し、無効になった残業時間を把握できるようになります

【勤怠】タイムレコーダー設定のログ検索強化



- タイムレコーダー設定のログ管理の検索機能が強化されます。
- 所属、社員名/メッセージ/雇用区分/打刻種別で検索ができるようになります。

【勤怠】有休付与設定を複写できる



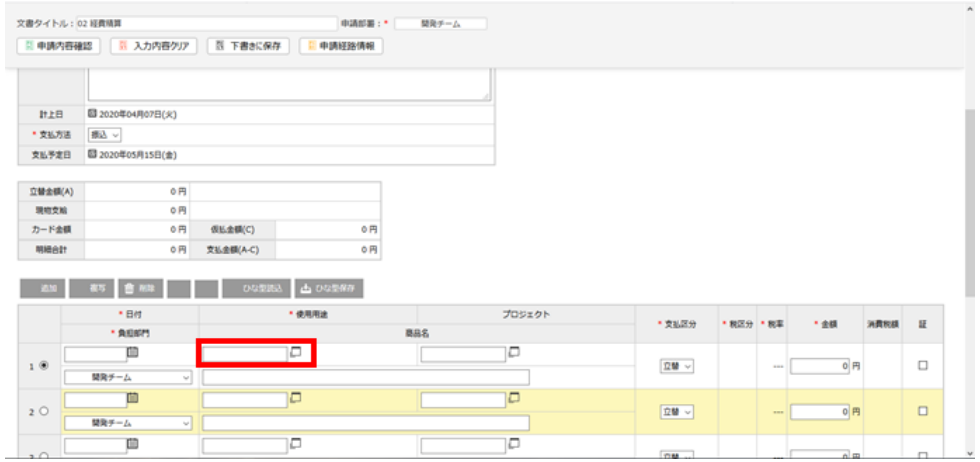
- 有休付与の設定で複写機能が利用できるようになります

【経費】勘定奉行クラウド自動連携（仕訳のみ）

- 勘定奉行クラウドに対して自動連携で仕訳データを登録できるようになります。
- 連携の対象は仕訳のみとなります。
- 勘定科目などのマスタについては、自動連携の対象外となります。奉行クラウドでCSVを出力し、OZO3用のフォーマットに加工して取込を行ってください
- 経費管理で仕訳転送はERP連携を行い、マスタ管理はOZOマスタとすることができるようになります

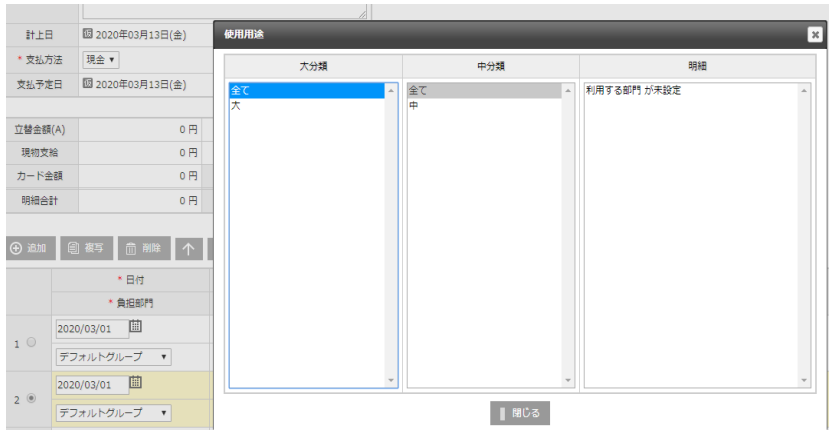
  ※機能としては経費運用設定の管理画面のアプリ連携設定でERP連携の接続先を選択できます
- 勘定奉行クラウドと連携する場合は、事前準備が必要になりますので、ITCSにご連絡ください。

【経費】使用用途のコード入力



- 申請時に使用用途をコード入力できるようになります
- 経費運用設定で使用用途のコード検索機能を利用するかどうかを選択できます
- 使用用途に使途コードが追加されます
- 使途コードは使用用途の設定画面で登録できます
- CSV登録の項目にも使途コードが追加されますので、一括編集も可能です
- 既に申請済みの申請書の使用用途には適用されません

【経費】使用用途の有効期限を設定できる

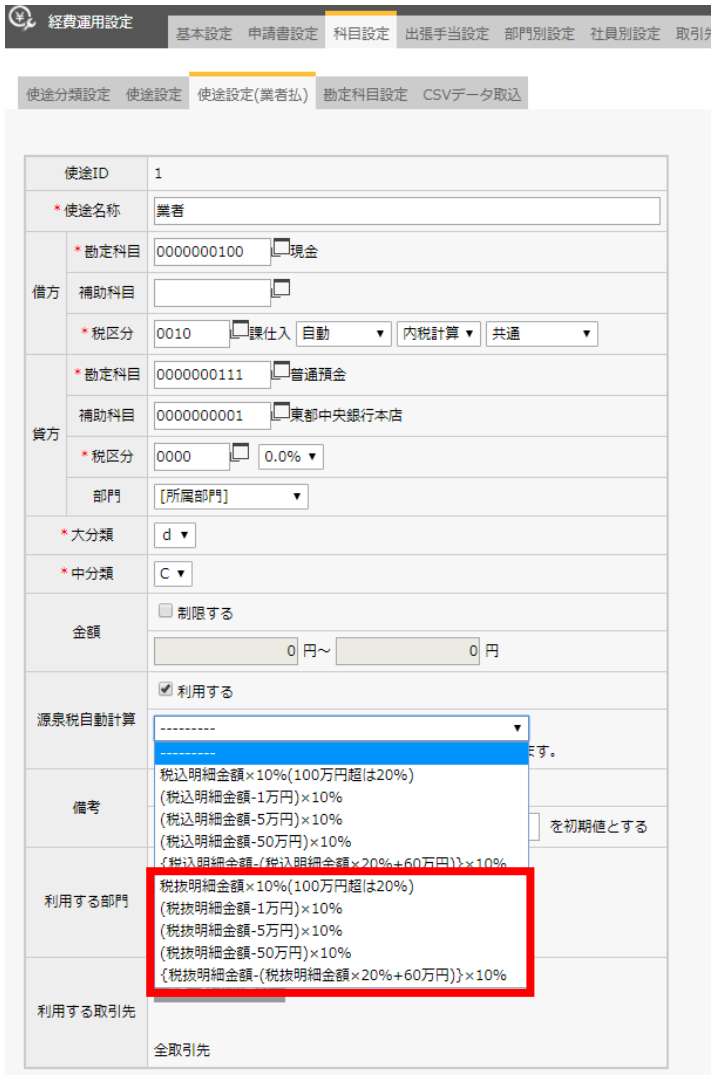


- 使用用途に有効期限を設定できるようになります
- 申請書の登録時に計上日が有効期限内にある使用用途のみが表示されます
- 常に利用したい場合は有効期限を空欄で設定します
- 期間限定の使用用途や既に利用しなくなった使用用途は有効期限を設定して、申請時に表示されないようにすることができます
- CSV登録の項目にも有効期限が追加されますので、一括編集も可能です

【経費】使用用途をCSVで削除できる

- 科目設定のCSVデータ取込で使途が削除できます
- 削除する際は使途IDもしくは使途コードを指定します

【経費】源泉税の税抜金額からの計算

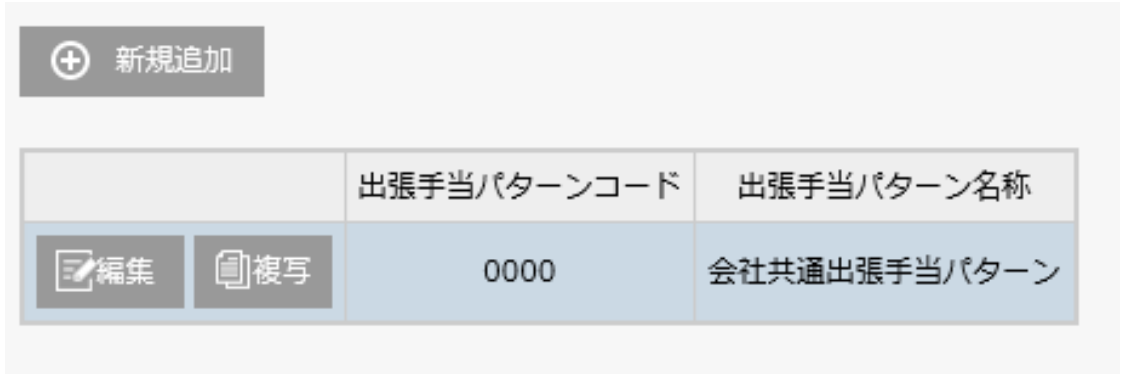


- 源泉税の計算を消費税を除いた税抜金額からも計算できるようになります。

【経費】支払一覧で「支払先」に取引先も指定できる

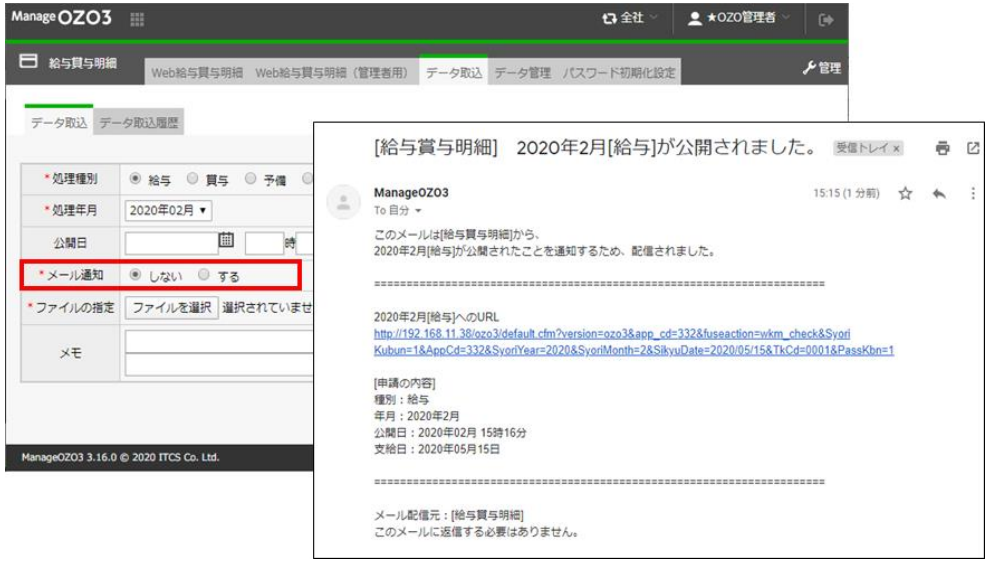
- 本機能は業者支払OPをご利用の場合に有効な機能です
- 支払先(従業員)と支払先(取引先)が検索条件に表示され検索できるようになります

【経費】出張手当設定を複写できる



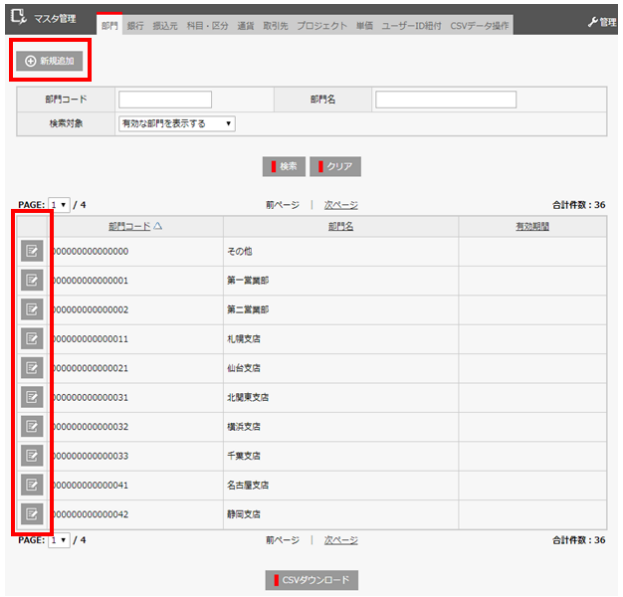
- 出張手当の設定で複写機能が利用できるようになります

【給与賞与明細】給与明細がメールで配信できる



- 給与明細、賞与明細、源泉徴収票がメールで配信できるようになります
- データの取込時にメールを配信するかどうかを選択します
- 公開日を指定する場合は公開日時にメールが送信されます
- 公開日を指定しない場合は即時にメールが送信されます
- 送付されてきたメールのURLをクリックすると、帳票が表示されます（申請書などと同様にログインが必要な場合があります）

【マスタ管理】画面から登録・編集できる



- マスタ管理内でCSVでのみ登録が可能だったマスタが画面からも登録できるようになります
- 該当のマスタは、部門/銀行/支店/税区分/勘定科目/補助科目/ユーザーID紐づけ
- 奉行連携版の場合は今まで通り登録/編集不可になります
- 公開日を指定しない場合は即時にメールが送信されます
- 送付されてきたメールのURLをクリックすると、帳票が表示されます（申請書などと同様にログインが必要な場合があります）